

発 言 通 告 書

令和5年11月27日

松山市議会議長 渡部克彦 殿

松山市議会議員 猪野由紀久

次のとおり通告します。

発言順位	24	受領日時	11月27日 午後 3時 10分	2 枚中 1 枚目
質問等の方式	一問一答方式 ・ 一括方式		発言時間	約 35 分
答弁を求める者	・市長 ・農業委員会会長	・教育長 ・選挙管理委員会委員長 ・監査委員	・公平委員会委員長 ・公営企業管理者	

No.	件 名	発 言 の 要 旨
1	事業承継について	(1) 中小企業は、高齢化が進み、後継者不在の状況が深刻となっている。国においても、経営承継円滑化法の改正を行い、事業承継時の金融支援措置や事業承継税制の負担軽減、事業承継・引継ぎ補助金など制度の充実を図っているが、今後、県や国、金融機関とどのように連携し、その対策を進めていくつもりか。  (2) 事業承継は、移住促進に対しても必要な事柄だと思うが、本市での創業支援や全国のネットワークを利用したマッチング支援についての本市の支援の在り方を問う。
2	北条地域の経済活性化について	(1) 現在も北条地域の地場産業や商店街などを支えていくため、様々な商業振興の支援が行われているが、北条の地域経済を活性化するための現在及び今後の取組について  (2) 今年度の北条地域におけるふるさと納税を活用した活性化の取組状況と実績及び今後の取組を問う。
3	松山市斎場について	(1) 市営斎場3か所の令和4年度の火葬件数と松山市斎場の火葬炉1基の1日最多火葬件数と1日平均火葬件数を問う。  (2) 設備にはメンテナンスが必要であるが、保守点検の内容と万が一故障した場合の対応策について、現在の状況と再整備後の計画内容を問う。  (3) 現在建設予定地の造成が行われているが、供用開始に向けてどのような事業スケジュールで行われていくのか。  (4) 高齢者の増加に伴い火葬件数の増加が見込まれるが、松山市斎場の火葬需要のピークをいつ頃と予想し、年間の火葬需要量をどのように見込み、必要火葬炉数をどのように算出しているか。  (5) 今回の再整備計画では、施設の内容についてどのような方式を採用するのか、その採用した理由を問う。

